

2023年度（令和5年度）
定期総会 議案書

公益社団法人 大阪府精神障害者家族会連合会

電話 06-6941-5797・FAX06-6945-6135・E-メール info@daikaren.org
〒540-0006 大阪府中央区法円坂 1-1 アネックスパル法円坂 A 棟 4 階

- ◆日時 2023年（令和5年）5月27日 10時から12時
- ◆場所 アネックスパル法円坂 3階2号室

第1号議案 2022年度（令和4年度）活動・事業報告

（2022年4月1日から2023年3月31日）

I 要望活動

1. 行政等への働きかけ（課題の実現に向けて）

(1) 行政への要望活動（要望項目は下記課題の通り）

- ・「大阪府知事、大阪市長」への要望書の提出：2022年10月20日
- ・大阪府議会の須田あきら議員に提出：2022年1月26日

その後府議会須田あきら議員が本会議において質問。府が回答した。

(2) 「大阪府との意見交換会」：2023年2月10日

意見交換会では重点項目に絞り「医療」では下記課題の1項、4項、5項の3項目、「地域生活」では2項、3項、4項の3項目合計6項目の意見交換を実施。

(3) 各市町村への働きかけ：2市が大家連の「要望書」を基本にして提出

<課題（要望項目）>

【医療】

1. 新型コロナ対応について
2. 24時間365日の精神保健医療相談窓口の実施の実現
3. 精神科救急医療システムによる受け入れ病院を地域に戻りやすい圏域で配分の実現
4. 病状悪化で困った時医療とつなぐアウトリーチチームの稼働の実現
5. 精神科医療機関における身体拘束・行動の制限の改善の実現
6. 精神科病院で患者への虐待の確実な把握と改善の実現と実体の開示
7. 精神障害者医療助成制度の拡大。現状は手帳1級保持者のみ。
8. 障害者の老人医療制度の復活

【地域生活】

1. 教育について

- 1) 大阪府職員並びに一般市民（教育職員、医療関係者、障害者地域支援事業職員、地域自治会）への精神疾患理解及び精神障害者の権利に係わる人権教育の実施

昨年度の実施状況の開示、またそれぞれの研修の場に当事者家族の体験を伝える場の設定の実現

- 2) 本年度より実施された高校保健体育で精神疾患の授業の実施状況の開示し、教科書の内容の公開
- 3) 同上教育を小学校高学年から開始の実現

2. 住まいについて

- 1) 住宅の障害者単身入居枠の拡大の実現
- 2) 大阪市平野区の市営住宅の自治会当番の対応で障害者自死事件のその後の大阪府の対応について開示
- 3) 住宅の公的保証人制度の実施の実現
- 4) 民間不動産業者の入居拒否の改善

3. 日中活動の場について

- 1) 通所型障害福祉サービスの事業所の拡大の実現
- 2) ヘルパー支援を精神障害者の個人の体調、希望に寄り添った対応の実現
- 3) 地域で障害福祉サービスを受けるための調査は高齢者介護保険制度区分項目とせずに、精神障害者の特性に配慮するよう改善

4. 保健所の相談、訪問の拡大と充実の実現

5. 今注目が集まっているヤングケアラーの実態調査、家族負担の実態調査を実施し自治体としてケアラー支援条例の制定の実現

3. 家族どうしの交流、情報交換（圏域交流会）活発化

- ・2023年3月11日泉州ブロックのみ実施。

4. 政策委員会

- ・7月28日、8月31日の2回開催
- ・出席委員：会長 副会長 理事及び、政策委員3名
- ・議 題：大阪府、大阪市への要望書項目の策定

Ⅱ 公益事業

1. 電話相談事業

<目的>

精神障害者とその家族の精神保健福祉の向上に寄与することを目的に、精神障害者にかかわる困りごとを抱える家族等を対象に、精神障害者の家族と家族が対等な関係で悩みを共有し、相談に応じる事業を実施した。

<内容>

- ① コロナ禍に相談員の安全のため 月曜日から金曜日 11時から15時のシフトとした。来所、訪問相談にも対応した。
- ② 理事 5名、相談員 12名、電話相談アドバイザー 1名が対応した。

<実績>

2022年度コロナ感染拡大が続き緊急事態宣言、蔓延防止重点措置発出があり、電話相談体制は、高齢の相談員の安全を確保するため、対応時間短縮（11時から15時）などで乗り切らざるを得なかった。年間総件数は1,287件であり、昨年度1,133件の114%となり、対応する体制比率が約7割を占める結果となった。その相談内容では、9割が生活に関する相談であった。地域の当事者と居場所、地域の相談の不十分さは相変わらず垣間見られた。当事者への地域相談、支援体制のさらなる充実が望まれる。

<ケース会議>

緊急事態宣言 蔓延防止措置宣言などの合間をぬって

4月、5月、6月、10月、11月、3月と実施し、7月、8月、9月、12月、1月、2月は中止した。

月ごとの実績表をもとに事例を共有し、問題に沿った相談の在り方を協議した。電話相談アドバイザー 寿良さん、顧問 遠塚谷さんの知識と経験によるアドバイスを戴いた。相談者の混乱を整理する一助としての受容、共感を旨とする対応の工夫を協議するとともに、相談の背景にある、家族関係、地域支援の問題点を協議する事にもなった。服薬拒否、医療に安定してつながること、家族間の病気理解の難しさに伴う家族関係のもつれ、日常を支える家族負担、当事者と家族の孤立など、障害を背景にした当事者を尊重する精神医療の在り方、地域支援など構造的な問題は本年度も昨年引き続き浮き彫りとなった。

2022年度電話相談実績報告書

	新規	再	計	母	父	兄弟姉妹	本人女	本人男	配偶者	子	その他	医療	生活	訪問	来所
4月	22	70	92	20	1	4	8	55	1	2	1	10	82		1
5月	17	90	107	28	1	2	7	66	3			9	98		
6月	15	94	109	20	2	3	16	67	1			8	101		
7月	23	95	118	25	4	8	11	63	4	1	2	13	105		
8月	17	88	105	21	2	3	16	58		3	2	17	99		
9月	11	91	102	14	-	3	23	62				7	95		
10月	18	92	110	22	2	5	23	54	2		2	29	81		1
11月	18	73	91	26		3	17	37	3	1	4	5	86		
12月	13	83	96	17	1	2	17	56	1	1	1	6	90		
1月	23	86	109	20	2	4	17	64	1		1	8	101		
2月	20	107	127	23	3	4	32	60	2	1	2	15	112		1
3月	18	103	121	20	2	1	22	70	4	2		12	109		
計	215	1,072	1,287	256	20	42	209	712	22	11	15	139	1,159		3
%	16.7	83.3		19.9	1.6	3.3	16.2	55.3	1.7	0.9	1.2	10.8	90.1	0.0	0.2

*医療と生活は複数回答となり総件数と合わない

件数

月平均107件を前後する。コロナ禍で相談員数限定による件数減は否めない
新規は2割前後、リピーターは8割前後との傾向も変わらない。

立場

本人男が毎月6割強を占める。
それに次ぐのが、母の頻度である傾向も変わらない。
本人たちの相談が8割強となった。

相談内容

生活にかかわる相談が9割を占めた。本人たちからの日々の暮らしの不安、出来事の訴えなどが主である

2. 大阪府精神障がい者社会参加支援事業（精神保健福祉講座事業）

今年度はコロナ禍感染拡大のため、会場、ZOOMのハイブリッド方式で実施した。

(1) 講座の内容

<病気の理解と治療>

- 「精神科医療の現状とこれから」6月25日 精神科医師 菊山裕貴先生
- 「発達障害の視点から考える」8月27日 新澤 伸子先生 武庫川女子大学
文学部心理社会福祉学科
- 「精神医療を正しく理解するための教育の必要性」9月24日 山田 浩雅先生
愛知県立大学看護学部 准教授

<制度・社会資源として>

- 「オープンダイアログってなんだろう」斎藤 環先生 11月5日
医学専門学群 医学博士
- 精神障害者当事者の暮らしに密着した「じりつのかたち」のDVD作成
各家族会にDVDを配布した

<家族支援>

- コロナ感染拡大で、会場のリアルな講座開催ができにくくなり、オンライン利用が必須となった。そこで二つの専門集団にZOOM利用を委託し個人や地域家族会がオンライン受講できるよう学習した。結果、オンライン受講者が会場参加者を上回る成果を上げる事ができた。

3. 啓発事業

(1) だいかれん誌の発行

- ・編集員メンバー：理事-1名、相談役-1名、編集委員-4名
- ・発行回数

7月、9月、12月、3月の計4回 各家族会登録人数分 および府下保健所、保健センター、支援者、全国の家族会などへ計4500部を発送。

【付記】

だいかれん誌は赤い羽根共同募金のご支援で、2022年度配布事業は2023年3月2日をもって完了したことを報告いたします。

赤い羽根共同募金のご支援に感謝申し上げますことも併せて報告いたします。

(2) ホームページの活用

- ・ホームページにより、大家連の活動内容等を紹介
- ・情報提供により、会員以外の電話相談や講座への参加等の増加を目的。

Ⅲ 他団体との連携

1) みんなねっと（全国精神保健福祉会連合会）

- ① みんなねっと広島大会（オンライン併用） 2022年10月13日、14日
- ② 「みんなねっと精神科医療への提言」のとりまとめと様々な機会に発信
- ③ 障がい者権利条約 国連勧告の場（スイスジュネーブ）に事務局の参加
- ④ 滝山病院「るぽ・死亡退院」報道を受けて身体拘束を考える会などとキックオフ集会参加
- ⑤ 近鉄の精神障害者手帳1級者への助成実現を受けて、手帳二級への拡大要望。月刊「みんなねっと」購読者減少の中でも 大阪は最下位であり、購読者増への対策が迫られる。

(2) みんなねっと近畿ブロック

- ① 各府県連の活動状況、情報交換、課題の共有化をはかり精神保健医療の改革と家族会活動の活性化を協議する。
- ② みんなねっと近畿ブロック家族のつどい in 奈良（オンライン 10月30日）
- ③ 滝山病院事件「ルポ・死亡退院」報道を受けて、厚生労働大臣あてに二府四県連名で抗議声明提出

(3) 大阪フォーラム（ODF） 府下28の障害者団体で構成

- ・ 障害者施策に関する国動向の情報提供と共有化
- ・ 優生保護法による強制手術の国賠償の呼びかけ。 被害者とりわけ精神障害者の申告が少ない状況。
- ・ グループホーム強制退去に関する裁判取り組み
- ・ 新型コロナに関する自治体対応と 障害者団体の抱える問題
手帳2級65歳以上の福祉サービスの 問題点
医療費助成制度カットの問題点を収集し今後改訂を求める準備
- ・ 障がい者権利条約の国連勧告の情報
- ・ 各障がい者団体の抱えている問題について
大家連からは「東住吉区、死体遺棄事件」「門真市一家殺傷事件」と不当な「家族賠償責任」の問題点として家族依存の問題提起
- ・ 医療中断と家族への過剰な自己責任転嫁 地域支援の在り方について提起
- ・ 滝山病院事件については、ODFとしても問題点を共有してゆく
3障害の中で遅れ勝ちな精神障害者と家族活動も共有してゆこうとの方向を確認していただいた。

IV. 仲間作り

① 配偶者・パートナーの集い

- ・10月、12月、2月、3月の8回開催致しました。
- ・4月-2名、5月-1名、6月-3名、9月-4名、10月-3名、12月-5名
2月-3名、3月-2名と参加者の数は少ないですが、ホームページ等で、「配偶者・パートナーの集い」がある事を探し出し参加してきますので、毎回初めての方がいます。日頃の悩み・苦悩を話せる場所がなく、参加者が少ない分思いをたくさん話せ、来て良かったと言って戴いています。また希望に応じて地域家族会を紹介し、繋がった方もいます。大家連の存在を知る事で、会員拡大につながればと思います。

② おしゃべりカフェ

- ・2022年 4月-7名、5月-3名、6月-7名、9月-6名、10月-9名、11月-6名
- ・2023年 2月-8名、3月-7名 計8回実施 合計51名参加。
- ・場所-2022年9月は大家連事務所、2023年2月は大阪市立中央会館
その他の月は長居植物園で実施。2022年11月、2023年3月はランチ会

V. 理事 月次活動報告書

別添 理事活動記録表 別表 P14, 15, 16

第2号議案 2022年度（令和4年度）決算報告書

決算書 および財務諸表 別表 P17, 18

第3号議案 2022年度（令和4年度）監査報告書

監査報告書 別表 P19+

第4号議案 2023年度（令和5年度）活動・事業計画

2023年3月27日 臨時総会に於いて承認済み

I 私たちの目指すもの

障害者権利条約に基づく国連勧告を受け止め、障害者の権利と自由の享受を可能にすることを旨とし、精神障害者と家族が地域で孤立することなく、差別なく当たり前で暮らすことができる社会を目指す。

1. 行政等への働きかけ（課題の実現に向けて）

（1）大阪府、大阪市、各市町村への要望活動

大阪府、大阪市、各市町村への要望書の提出と協議の場を持つ

（2）大阪市、各市町村議会への要望活動

府議会、大阪市、各市町村議会への要望課題採択への陳情 請願 意見書など

（3）行政各種委員会への参画

（4）国への働きかけ

精神医療保健福祉の法制度の改革についてみんなねっと・大阪府等を通じて国への働きかけを促す。

<課題>

1 安心できる地域生活の実現

① 精神保健福祉手帳1級所持者のみならず2級所持者を含めた医療費助成の実現。

② 公共交通機関の運賃割引の実現

③ 当事者の日中活動の場の拡充の実現

④ 住まいの場の保証と拡充の実現

⑤ 訪問看護、ヘルパー制度等在宅支援の充実。

⑥ 家族の病気、休養を要する時などに、臨機応変に利用できるショートステイの充実及び利用規定の簡便化

⑦ 家族へケアラーとしての過度な依存を解消し負担軽減を図るためにケアラー支援条例制定に向け、自治体による家族の実態調査の実現を働きかける。

2 精神科医療の充実

① 保健所の人材及び、機能の強化による緊急時の受診につながるまで保健所・保健センターによる、責任ある介入支援の強化

- ② 多職種による訪問型医療制度アウトリーチの早期実現
- ③ 保健所による精神疾患の相談、訪問業務の強化
- ④ 5大疾病として差別ない3次救急システム並びに入院など医療処置の強化
- ⑤ 精神科特例の実質的廃止
- ⑥ 私立病院等への精神科の削減を止め設置を義務とする。
- ⑦ 身体拘束の精神保健福祉法の第37条規定（拘束時間規定なし）の見直し、
- ⑧ 身体拘束ゼロへの精神保健福祉法改正への働きかけ。
- ⑨ 医療保護入院の見直しを進める。
家族同意を要件にしない医療従事者、または法律専門家による本人の基本的人権に配慮した入院同意を進める。
- ⑩ 2017年度並みの身体拘束項目を含む630調査の開示の実現。
（*2018年度は開示なし、2019年度以降は開示様式が変更され、身体拘束など詳細項目が一覧できなくなった。）

3 精神障害者への差別と偏見解消

- ① すべての児童、生徒、学生、すべての成人府民への精神疾患教育と障害者権利条約に基づく人権教育義務化の実現
- ② 大阪府障害者差別解消条例の理解を進めるための大阪府によるすべての府民、に条例研修の徹底義務化の実現。
- ③ 当事者として受けた差別事例の伝えやすい市町村窓口、あるいは大阪府広域相談窓口のわかりやすい表示の実現

2023年度 精神障がい者社会参加支援事業精神保健福祉講座 (案)

実施日時	講師	講演	会場
① 7/29 (土) 13:30~	豊中社協 勝部麗子氏	地域で孤立しないために 地域支援・制度の使い方 現状情報	オンライン併用 エルおおさか 視聴覚室 5F
② 8/19(土) 13:30~	精神科医 菊山裕貴氏	早期治療を開始するために	オンライン併用 エルおおさか 視聴覚室 5F
③ 9/30 (土) 13:30~	有我譲慶氏	国連勧告を受けて 精神科医療の問題点	オンライン併用 エルおおさか 視聴覚室 5F
④ 10/21 (土) 13:30~	山内益恵弁護士	80・50問題を考える	アネックスパル 法円坂6階12号
⑤ 13:30~ 調整中	大家連会員 コーディネーター等	どうする医療中断 体験談から	
⑥ 12/9 (土) 13:30~	精神科医 菊山裕貴氏	薬物治療の問題点	オンライン併用 エルおおさか 視聴覚室 5F

2. 家族相談事業（大阪府精神障がい者相談支援事業）

- ・ 家族相談員による電話相談 来所相談を受ける
 - ・ 精神障害者家族の悩みの傾聴、
 - ・ 社会資源、福祉サービスの紹介、
 - ・ 体験に基づく医療や地域生活情報の提供
- ・ 毎週 月曜から金曜 10時から15時
コロナ禍では時間帯変更の場合があります。
ケース会議 毎月第三金曜日 相談員と相談役、顧問、電話相談アドバイザーの参加で事例検討と 相談体制の充実と強化を図る。
日中の電話相談を利用しにくい人へのメール相談などを検討し、本格活用に向けて一年試行実施する。

3. 啓発事業

- (1) だいかれん紙の発行
- (2) ホームページの作成
- (3) 大家連紹介リーフレット作成

Ⅲ組織強化

1. 大家連の組織強化

- ・ 大家連会員の年齢の幅を広げての拡大、理事会、委員会の組織強化を図る様々な検討をする
- ・ 市町村家族会長参加のライングループの試行を検討する。
- ・ 高齢化に対応できる方策も協議し進める。

2. 全国との連携、障害者団体との連携

- (1) みんなねっと（全国精神保健福祉会連合会）への参画
- (2) みんなねっと近畿ブロックへの参画
- (3) 大阪障害フォーラム（ODF）への参画

3. 仲間作り

- ・ 配偶者、パートナーの集い の開催・家族会への移行を協議する。
- ・ おしゃべりカフェ の開催・家族会への移行を協議する。

4. 家族会どうしの交流、情報交換（圏域交流会）の実施

5. 政策委員会の開催

- ・ 昨年度の構成と同じ 理事、会員有志で構成する。
- ・ 精神保健福祉の現状と情報を会員に伝え、議会・行政に働きかける方向を協議し理事会に提言する。

第5号議案

2023年(令和5年)度 収支予算書

公益社団法人 大阪府精神障害者家族会連合会

勘定科目	(公益事業)				法人会計	合計
	社会参加支援 (福祉講座)	相談支援 (相談事業)	共同募金 (だいかれん誌)	小計		
収入						
会費収入(家族会・賛助)		460,000		460,000	460,000	920,000
補助金(委託費含)	1,739,000	1,992,000		3,731,000		3,731,000
助成金(共同募金配分金)			541,000	541,000		541,000
寄附金(病院・クリニック)		460,000		460,000		460,000
寄付金(理事・相談員)		487,000		487,000	1,458,500	1,945,500
寄付金(個人・その他)			309,000	309,000	381,000	690,000
雑収入(受取利息含)				0		0
預金から繰入				0		0
収入合計	1,739,000	3,399,000	850,000	5,988,000	2,299,500	8,287,500
支出						
事業費計	1,739,000	3,399,000	850,000	5,988,000		5,988,000
相談員手当		3,024,000		3,024,000		3,024,000
旅費交通費	170,000	270,000	80,000	520,000		520,000
通信運搬費	160,000		48,000	208,000		208,000
印刷製本費	413,000	55,000	280,000	748,000		748,000
消耗品費	40,000		50,000	90,000		90,000
支払手数料	240,000			240,000		240,000
負担金			32,000	32,000		32,000
報償費	416,000		360,000	776,000		776,000
使用料及び賃貸料	300,000	50,000		350,000		350,000
他会計へ振替				0		0
事務費				0		0
管理費計	0	0	0	0	2,299,500	2,299,500
報償費					0	0
給与手当					0	0
法定福利費					20,000	20,000
渉外費					0	0
会議費					5,000	5,000
旅費交通費					30,000	30,000
通信運搬費					200,000	200,000
印刷製本費					30,000	30,000
減価償却費						
消耗品費					200,000	200,000
水道光熱費					22,000	22,000
負担金					145,000	145,000
地代家賃					640,000	640,000
使用料及び賃貸料					50,000	50,000
リース料					620,000	620,000
保険料					3,000	3,000
租税公課					2,500	2,500
支払手数料					330,000	330,000
雑費					2,000	2,000
支出合計	1,739,000	3,399,000	850,000	5,988,000	2,299,500	8,287,500
当期収支差額	0	0	0	0	0	0

第6号案 2023年度（令和5年度）新役員体制（案）

理事	大野 素子	会長	(大阪市 はあぶ東住吉)
理事	山本 美世子	副会長	(羽曳野・藤井寺まつしの家族会)
理事	奥村 勲	副会長	(寝屋川市 みつわ会)
理事	堀居 努	副会長	(箕面市 グループ風) (副会長としては新任)
理事	三好 忍		(高槻明星会)
理事	東 泰敬		(泉佐野市三枝家族会)
理事	峯苔 絹子		(賛助会員) 新任
理事	美馬 裕美		(賛助会員) 新任
監事	堀田 久雄		堀田税理士事務所
相談役	倉町公之		(高槻明星会)
電話相談アドバイザー	彗良 昌子		(大阪府精神保健福祉士協会)

退任 理事 佐野朋慶

辞任 顧問 遠塚谷 富美子

	勘定科目	(公益事業)			(法人会計)	合計	
		社会参加 (福祉講座)	相談支援 (相談事業)	共同募金 (だいかれん誌)	小計		大家連
入	会費収入(家族会40・賛助会員53)				0	910,000	910,000
	本部会計から公益(相談支援)へ補填				455,000	-455,000	
	補助金		2,004,000		2,004,000		2,004,000
	助成金(委託費含)	1,749,000		541,000	2,290,000		2,290,000
	寄付金(病院・診療所・クリニック)				0	535,000	535,000
	寄附金(理事・相談員・その他)				0	1,669,000	1,669,000
	寄附金(特別寄附金・個人寄付)				0	834,100	834,100
	雑収入(受取利息含)				0	40,635	40,635
	預金から繰入				0		0
収入合計	1,749,000	2,004,000	541,000	4,749,000	3,533,735	8,282,735	
支	事業費計	2,012,729	3,050,780	886,806	5,950,315	0	5,950,315
	相談員手当		2,662,500		2,662,500		2,662,500
	旅費交通費	71,740	317,860	36,480	426,080		426,080
	通信運搬費	83,064	40,600	49,399	173,063		173,063
	印刷製本費	206,307		490,930	697,237		697,237
	消耗品費	54,496		8,047	62,543		62,543
	支払手数料	36,220			36,220		36,220
	支払負担金			33,330	33,330		33,330
	報償費	1,326,504		249,600	1,576,104		1,576,104
	使用料及び賃貸料	234,398	29,820	19,020	283,238		283,238
					0		0
	管理費計	0	0	0	0	2,513,679	2,513,679
	福利厚生費						
	報償費					350,000	350,000
	法定福利費					24,229	24,229
	渉外費						0
	会議費					18,214	18,214
	旅費交通費					30,970	30,970
	通信運搬費					147,394	147,394
	印刷製本費					73,735	73,735
	減価償却費					78,421	78,421
	消耗什器備品費					0	0
	消耗品費					153,261	153,261
	水道光熱費					25,518	25,518
	支払負担金					151,000	151,000
	地代家賃					633,924	633,924
	使用料及び賃貸料					13,370	13,370
	リース料					570,648	570,648
	保険料						0
	租税公課					1,360	1,360
	支払手数料					224,189	224,189
	雑費					17,446	17,446
						0	
支出合計	2,012,729	3,050,780	886,806	5,950,315	2,513,679	8,463,994	
当期収支差額	-263,729	-1,046,780	-345,806	-1,201,315	1,020,056	-181,259	

原本と相違ないことを証明する。

公益社団法人 大阪府精神障害者家族会連合会 会長 大野 素子



第3号議案

監査報告書

令和5年5月6日

公益社団法人大阪府精神障害者家族会連合会
代表理事 大野 素子 殿

監事 堀田 久雄



私くし監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告書等の監査結果

一 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

■ 2023年3月27日臨時総会に寄せられた意見

臨時総会議案に関する自由記載のご意見は代表者会議で皆様と意見交換してゆきます。

大家連要望と重複しているご意見には「府回答概略」をご紹介します。

1. く第一号議案に寄せられた意見

【医療】

ご意見

① ・精神医療の充実、アウトリーチの早期実現

府庁のホームページを見ると学校、社協、地域、家庭を対象としたアウトリーチである。精神障害者に特化していない様に思う。東京都、岡山県等事業として進められている。

府回答概略（大家連要望項目 医療一4に対して）

各保健所において、精神保健福祉相談員や保健師などが、医療機関や訪問看護、居宅介護事業所、市町村などの地域における様々な関係機関の連携し、多職種で当事者、ご家族に対して受療支援や治療継続支援など病状に応じた必要な支援を実施してる。

引き続き、地域における連携を通じて対応してゆく。

大家連として

府回答の多職種連携の実態が家族会には見えにくく、機能しているとは思えない。

会場から

医療保護入院にすらつながれない現実。

医療拒否、引きこもりのひとたちへの支援として必要。

作業所に行ける人は安定しているが、作業所にもつながらない人、無銭で放浪する人を医療につなぎようがない。

入院したとしてももすぐ退院させられる（く国の入院基本料に基づく3か月退院など）

② 医療保護入院の見直しに賛同するが、その前に入院にたよらずに地域で安心して暮らせる制度を明らかにして推進すべきです。

大家連として

地域福祉サービスや制度は十分整備されているとは言えないことに重ね、情報も不足しております。地域福祉サービスの整備には大家連としてまた地域家族会からも声を上げていただくことが必要です。

会場から

同居で24時間居る大変さ

大阪市基礎調査によれば回答者の75%は高齢家族との同居 2019年のデータでは日中
2019年データでは日中活動につながっている人は精神障害者手帳所持者の約1割程度

③ 薬物治療に関して不信感を覚える事が良くある。

医師とのコミュニケーションによる信頼関係を作る難しさは多くの家族が体験しているところ
で、体験を聞かせていただきたいと思います。

会場から

合併症があるのにそれぞれの医師が連携してくれない。

それぞれが多剤大量投与になっているのに聞いてくれない。

両方見てくれる医療機関がない。

自分から体調を言えない。

親の意見 報告を聞いてくれない。

【生活】

ご意見

- ① 安心できる地域生活の中で、ショートステイの充実と当事者の日中活動の場の拡
充を要望したい。(大家連要望 地域生活―3 日中活動の場の拡大)

府回答概略

障がい福祉サービス事業所設立意向のある法人には相談に応ずる。府実地指導では障害特
に合わせた支援が行われるよう指導してゆく。

ホームヘルプ支援については国の定める支給決定要件を踏まえたうえで、市町村には個々の
障害状況に合わせ支給決定されるよう指導してゆく。

大家連として

障害福祉サービスの設立は民間法人に転嫁するのではなく、自治体が率先して推進すべきで
あると認識している。

会場から

地域に出ていけない引きこもってどこにもつながっていない人へのアプローチががない。

日中活動につながっている人は1割程度しかいないという実感

区分認定調査で受けられるサービスが決められてしまう。

個人にあったサービス提供になっていない。

- ② 保健所機能の強化 (大家連要望 地域生活4―②)

府回答概略

各保健所で精神保健福祉相談員や保健師、精神科食卓委が電話や訪問で対応している。
府設置保健所9か所、政令、中核市保健所9か所 計18か所設置している。

コロナ感染対応には各保健所に保健師3名 行政職1名 合計39名の増員体制
で臨んできた。

保健所の役割を十分果たすことができるよう適正な人数確保に努めてゆく。

大家連として

全国自治体の中で大阪府のコロナ感染者の死亡率の高さからも保健所機能は非常に不十分であるとの認識のもとに、精神障がい当事者家族支援のためにさらなる適正数、適正箇所での十分な確保に努めてゆくべきである。

会場から

保健所数はもとに戻すべき。相談員対応も不十分だ。

③ 精神疾患教育と人権教育の充実を要望したい。(大家連要望 地域生活 1—①②③)

府回答概略

府教育庁では小中高校職員に「障害理解教育研修会」の実施、教育センターでは疾患理解と発症している生徒への対応、支援の研修、新規採用養護教諭、初任教諭には冊子「見つめよう一人ひとりを」を配布し精神疾患について正しく理解し、当事者、家族への寄り添った対応に努めている。

大家連として

新任から管理職まで、精神疾患の専門家 家族体験談も交えて一貫した研修体制の義務化が必要である。

会場から

学生（大学生？）に直接指導すべき

④ 家族相談事業について

- ・家族相談研修会①みんなねっと家族相談ラーニング無料で実施できます。
- ②ゲートキーパー研修（自殺予防対策）参照

大家連として

本年度はみんなねっとからの研修も取り入れて電話相談研修を企画する予定です。また、電話以外の相談媒体も検討し、試行してゆきます。

会場から

病院家族会は大変有効ではあったが、主催者側は体力的に厳しい。

当事者を抱え、家族相談事業まで担うことは体力的に限界だ。

家族会では生の声を聴けて良かった。

行政は家族支援の仕方がわかっていない。

- ・私見ですが、精神障害者（大阪市）は増加しており多くの方が、相談先や学習の機会や情報を得る手段が不十分な実態にあるような印象を受けます。特に現役で働いておられるご家族がそういう状況にある気がします。この方たちについてはメールでつながる事も大切ですが、精神障害の問題はオンラインだけでは不十分だと思います。土曜、日曜など休日に開催（電話相談）する必要も本当はあるのではと感じています。

大家連として

様々な立場や事情を抱えた家族に情報提供し、対応してゆくことは家族には大変大切なことです。ただ、それに携わるためのスタッフ数や力量の確保はかなり厳しい状況があります。大家連にとって大きな課題であることは十分認識し、協議してまいります。

④啓発事業 大家連リーフレット作成 「精神障害とはの内容の啓発も入れましょう」。

大家連として

ご指摘ありがとうございます。検討してまいります。

⑤ 行政への働きかけ、手法の一般的記載では課題の実現は難しい。大家連としてどの課題を地域家族会と、連携して実現するつもりか分からない

大家連として

要望作成に際しては日頃の地域家族会での困りごと、要望を大家連理事会にあげていただきたいと思います。市町村家族会が市町村に働きかけ、市町村家族会からボトムアップしてゆくことがより強力な要望活動となります。

市町村家族会の要望書作成については、大家連との双方向の連携も必要です。

⑥ ZOOM ミーティングによる参加ができ有難いです。有難うございます

⑦ ケース会議 毎月第二金曜となっていますが、第三の間違い、其れとも変更 どちらですか。 → 正しくは第三金曜日です。

2022 年度理事活動記録表

令和4年4月	
10日	日曜日 配偶者パートナーの集い
15日	金曜日 電話相談ケース会議
27日	水曜日 ベーシック研修 A
令和4年5月	
8日	日曜日 配偶者パートナーの集い
11日	水曜日 理事連絡会 14:00~zoom
20日	金曜日 電話相談ケース会議
27日	大阪府精神科医療療養環境検討協議会
28日	土曜日 定期総会、代表者会議 令和四年度第一回理事会
令和4年6月	
3日	金曜日 大阪府障がい者介護給付費等不服審査会
8日	水曜日 ベーシック研修 B
10日	金曜日 近畿ブロック代表者会議
12日	日曜日 配偶者パートナーの集い
16日	木曜日 理事連絡会 14:00~zoom
17日	金曜日 電話相談ケース会議
18日	土曜日 泉州ブロック家族会連絡会
19日	日曜日 おしゃべりカフェ
23日	木曜 大阪府差別解消協議会
25日	土曜日 精神保健福祉講座
25日	土曜日 大阪障がいフォーラム総会
令和4年7月	
2日	土曜日 だいかれん誌第271号発行
5日	火曜日 大阪市障がい者計画策定委員会 ワーキンググループ
10日	日曜日 配偶者パートナーの集い
13日	水曜日 理事連絡会 14:00~zoom
15日	金曜日 電話相談ケース会議
22日	金曜日 大阪府精神科療養環境検討協議会
28日	水曜日 第一回政策委員会
令和4年8月	
14日	日曜日 配偶者パートナーの集い
19日	金曜日 電話相談ケース会議
24日	みんなねっと 近畿ブロック 近鉄本社訪問 交通費割引助成改善申し入れ
27日	土曜日 精神保健福祉講座

2022 年度理事活動記録表

31日	水曜日	第二回政策委員会
令和4年9月		
6日	火曜日	大阪市障がい者施策推進協議会 精神障害者地域生活支援部会
11日	日曜日	配偶者パートナーの集い
15日	木曜日	理事連絡会 14:00~zoom
16日	金曜日	電話相談ケース会議
17日	土曜日	泉州ブロック家族会連絡会
22日	木曜日	だいかれん誌第272号発行
24日	土曜日	精神保健福祉講座
令和4年10月		
9日	日曜日	配偶者パートナーの集い
13日	木曜日	みんなねっと広島大会
14日	金曜日	みんなねっと広島
16日	日曜日	おしゃべりカフェ
19日	水曜日	理事連絡会 13:30~zoom
21日	金曜日	電話相談ケース会議
30日	日曜日	みんなねっと近畿ブロック家族の集い in 奈良
令和4年11月		
4日	金曜日	三役会
5日	土曜日	精神保健福祉講座
13日	日曜日	配偶者パートナーの集い
17日	木曜日	理事連絡会 13:30~zoom
18日	金曜日	電話相談ケース会議
20日	日曜日	おしゃべりカフェ
25日	大阪府精神科医療機関療養環境検討協議会	
令和4年12月		
11日	日曜日	配偶者パートナーの集い
12日	月曜日	だいかれん誌第273号発行
12日	月曜日	理事連絡会 13:30~zoom
16日	金曜日	電話相談ケース会議
17日	土曜日	泉州ブロック家族会連絡会
21日	水曜日	代表者会議
令和5年1月		
8日	日曜日	配偶者パートナーの集い
12日	木曜日	理事連絡会 13:30~zoom
20日	金曜日	電話相談ケース会議

2022年度理事活動記録表

25日	水曜日	大阪障がいフォーラム
26日	木曜日	大阪府議会 自民党 須田 旭議員と面談
30日	月曜日	大阪府障がい者施策推進協議会
令和5年2月		
1日	水曜日	理事連絡会 13:30~zoom
10日	金曜日	大阪府との意見交換会
11日	土曜日	理事連絡会 13:30~zoom
12日	日曜日	配偶者パートナーの集い
13日	月曜日	大阪府障がい者虐待防止推進部会
14日	火曜日	大阪市障がい者施策推進協議会 精神障害者地域生活支援部会
17日	金曜日	電話相談ケース会議
25日	土曜日	理事連絡会 10:30~zoom
28日	火曜日	大阪障害者フォーラム
令和5年3月		
6日	月曜日	だいかれん誌第274号発行
2日	木曜日	大家連理事会 2023年度事業計画 予算案承認
11日	土曜日	泉州ブロック家族会連絡会
12日	日曜日	配偶者パートナーの集い
17日	金曜日	電話相談ケース会議
19日	日曜日	おしゃべりカフェ
20日	月曜日	近畿ブロック家族会代表者会議
23日	木曜日	大阪府障害者自立支援協議会 地域支援推進部会精神障害者地域移行ワーキンググループ
24日	金曜日	大阪府障がい者施策推進協議会
27日	月曜日	臨時総会
31日	金曜日	大阪障害者フォーラム